

第2回

観光ガイド育成検定試験

【初級解答】

平成20年11月16日

注意

1. 開始の合図があるまでは、答案用紙を開かないでください。
2. 開始後30分が過ぎる前に会場を退出することはできません。

次の1 から11 までのテーマに関する文章を読んで、設問に該当する答をひとつだけ選び、○を付けてください。

1：「羊蹄山」山名の起源

「羊蹄山」は、「後方羊蹄山」と記されることもあります。この「後方羊蹄」の名を始めて記した史書は、『日本書紀』です。この中に、659（斉明5）年、阿倍比羅夫が百八十艘の軍船を率いて北征した際、二人の蝦夷から「後方羊蹄をもって政所とすべし」と進言があり、「後方羊蹄」に郡庁を置いて帰った、と記されています。『日本書紀』は「後方羊蹄」を（A）と読ませています。その地が実際にはどこなのか、日本の歴史における謎のひとつとして多くの史家や探検家たちの想像力をかきたててきました。東北北部や北海道など諸説ある中で、有力な説のひとつと言われてきたのが、「（B）のそばにある高地」という説です。（C）の尻別岳山麓は、多くの歴史的人物によって「後方羊蹄」の地と信じられてきた場所で、現在その近くには（D）が祀られています。

【問1】Aは、なんと読みますか。

- 1) こうほうようてい 2) しりべつ 3) しりべし 4) ぎしぎし

【問2】Bは、どこを指していますか。

- 1) 羊蹄山 2) 尻別岳 3) 尻別川 4) 大きな川

【問3】Cの町村名はどこですか。

- 1) 留寿都村 2) 喜茂別町 3) 真狩村 4) 京極町

【問4】Dはどこですか。

- 1) 蝦夷富士羊蹄山神社 2) 比羅岡神社 3) 後方羊蹄神社 4) 比羅夫神社

2：「羊蹄山」山名の変遷

「羊蹄山」と「尻別岳」は、ともに尻別川流域に並ぶ山ですが、和人の紀行文や古地図の中では、この両者はしばしば取り違えられています。“尻別川の地こそが「後方羊蹄」である”と記したのは（A）の「蝦夷志」ですが、「後方羊蹄」と「尻別」の読みが近いこともあって、その後さまざまな混乱が続きます。江戸時代に記された文献や古地図のなかでは、「羊蹄山」は様々な名称で記録されていますが、その多くは（B）という文字を伴うなど、混乱ぶりが伺えます。しかしアイヌの人たちは、前者を「マチネシリ」、後者を（C）と区別して呼んでいました。一方、明治政府の公文書では「後方羊蹄山」が公式に使用されますが、（D）に近代化を推し進めた測量技術者とその関連官庁や学術研究者は「マッカリヌプリ」と表記する例も見られました。北海道への入植者が急増するに従い、「後方羊蹄山」の読み方が難しいなどの理由から、その山容にちなんで「蝦夷富士」と称されることが増え、地元自治体からの要望もあって、昭和40年代の地形図からは「羊蹄山（蝦夷富士）」と記されるようになったのです。

【問5】Aは、誰ですか。江戸時代、幕府につかえた有名な学者です。

- 1) 松前広永 2) 本居宣長 3) 賀茂真淵 4) 新井白石

【問6】Bは、どんな文字ですか。

- 1) 大山 2) 後方羊蹄 3) 尻別 4) 後方

【問7】Cは、どんな名前と呼ばれていましたか。

- 1) マッカリヌプリ 2) ピンネシリ 3) シリペツ 4) ニセコアンペツ

【問8】Dは、何年代でしょう。

- 1) 明治20年代 2) 明治40年代 3) 大正10年代 4) 昭和10年代

3：羊蹄山観光開発の始まり

羊蹄山麓の観光史にとって、(A)は忘れることのできない年です。この年、大量輸送機関となる北海道鉄道が小樽から(B)まで開通したことで、それぞれ地元の駅名をどうするか大きな関心事となりました。倶知安村(当時)では、尻別川が大きく蛇行する(C)地区あたりに作られた駅を比羅夫駅と名づけ、旅行者の関心をこの地にひきつけようという動きが生まれます。この動きの中心にあったのが、「蝦夷富士登山会」です。彼らは、旅行者の関心を「後方羊蹄山」に誘うため、比羅夫駅から羊蹄山頂に至る登山路を開削します。この倶知安コースは(D)番目の登山路です。途中に土産品を扱う休憩所を設けたほか後方羊蹄神社を開山するなど、(E)を大いに活用した観光戦略を推進しました。仰ぎ見る山であった羊蹄山への登山をきっかけに推進した、観光開発の始まりです。また、明治37年は、青山温泉が開設された年でもあります。羊蹄山とニセコ山系が、それぞれ登山と温泉という観光資源によって、従来のあり方を大きく変えていったのです。

【問9】Aは、何年ですか。

- 1) 明治7年 2) 明治20年 3) 明治37年 4) 大正7年

【問10】Bの地名はどこですか。

- 1) 倶知安 2) ニセコ 3) 長万部 4) 函館

【問11】Cはどこですか。

- 1) 八幡 2) 高砂 3) 峠下 4) 大曲

【問12】Dにあてはまる数字を選んでください。

- 1) 1 2) 2 3) 3 4) 4

【問13】Eにはどんな言葉が当てはまりますか。

- 1) 登山ブーム 2) 比羅夫伝説 3) アイヌの伝説 4) 開拓移住者の増加

4：羊蹄山は二重構造の火山

羊蹄山は、富士山同様、内部は複雑な構造となっています。羊蹄山ができたのはおよそ**(A)**からですので、かなり新しい火山と言えます。羊蹄山の生成は**(B)**の形成から始まりますが、これはおよそ1,000メートル級の火山です。これを覆い隠すように東側に多少ずれる形で「本体火山」が形成されましたので、「本体火山」の火口は「古羊蹄」の火口より東側にずれています。その噴火の過程で、西側に「古羊蹄」を包み込んだふくらみを感じさせる今の山の形ができたのです。真狩側から見ると、西側にそのふくらみ具合が顕著に見えます。山肌を見ると、谷筋が急に曲がったり分岐したりしているところがありますが、これは「曲点」と言われます。その場所で基盤岩が異なっているために生じた地形ですが、羊蹄山の場合、この曲点は概ね同じ標高に現れ、これらを横につなげると、山が**(C)**つに輪切りされます。このことから、羊蹄山が大きく**(C)**つの時代によって形成されたことがわかります。羊蹄山は、今日**(D)**つの自治体によって放射状に構成されており、**(E)**に確定された標高は、1,898メートルです。頂上には、大火口（父釜）を含め**(C)**つの噴火口が見られるほか、**(F)**など複数の寄生火山も見られ、羊蹄山の複雑な生成過程を物語っています。

【問14】**A**に当てはまる年数を選んでください。

- 1) 1万年前 2) 2万数千年前 3) 20万年前 4) 30万年前

【問15】**B**にあてはまる名称を選んでください。

- 1) 前羊蹄山 2) 小羊蹄山 3) 古羊蹄山 4) 旧羊蹄山

【問16】**C**にあてはまる数字を選んでください。

- 1) 2 2) 3 3) 4 4) 5

【問17】**D**にあてはまる数字を選んでください。

- 1) 4 2) 5 3) 6 4) 7

【問18】**E**に当てはまる年はいつでしょうか。

- 1) 明治29年 2) 明治42年 3) 大正9年 4) 平成2年

【問19】**F**に当てはまる湖沼はどれでしょうか。

- 1) 鏡沼 2) 神仙沼 3) 半月湖 4) 長沼

5：レルヒ中佐のスキー登山

明治45年、オーストリア軍人テオドール・フォン・レルヒが、**(A)**の第7師団に着任し、早速羊蹄山へのスキー登山を敢行しました。スキー登山に先立って、レルヒは倶知安町旭丘地区の小高い山で地域住民に1本杖スキー術を披露していますが、これがこの地域でのスキー普及に大きな影響を与えました。羊蹄山へのスキー登山は、第7師団の若手将校を伴い行われ、**(B)**や**(C)**の同行取材と報道によって脚光を浴びました。今日ではスキーはニセコ山系で隆盛を極めていますが、その源流はレルヒ中佐の羊蹄山スキー登山だったのです。第7師団の将校たちはスキー術を北大（当

時は農科大学)の学生スキー部に伝授し、北大学生スキー部はその後、青山温泉に毎年のように冬期間合宿して近くの斜面で練習を積んだことから周辺の住民にもスキーの楽しさを印象付け、ニセコ山系におけるスキーの歴史に大きな足跡を残します。レルヒ中佐の像は(D)のレルヒ記念公園にあります。

【問20】Aに当てはまる市町村を選んでください。

- 1) 倶知安町 2) 札幌市 3) 帯広市 4) 旭川市

【問21】Bにあてはまる団体の名前を選んでください。

- 1) 蝦夷富士登山会 2) 羊蹄山麓観光協会 3) 1本杖スキー愛好会 4) 強力

【問22】Cにあてはまる新聞社を選んでください。

- 1) 北海道新聞 2) 北海タイムス 3) 小樽新聞 4) 読売新聞

【問23】Dにあてはまる市町村名を選んでください。

- 1) ニセコ町 2) 倶知安町 3) 留寿都村 4) 蘭越町

6：「ニセコ」の名称にまつわる歴史の謎

全国的に有名になった「ニセコ」はニセコアンヌプリの略称ですが、ニセコアンヌプリは山容の穏やかなイメージとは異なる「絶壁にある山」という意味を持っています。この地名も不思議ですが、(A)以前の地図には、隣にある(B)は載っていても、ニセコ山系の主峰ニセコアンヌプリの名称は載っていないのです。この謎は、「ニセコ」がかつてどのような地域であったのかを物語っています。つまり、イワオヌプリやニセコアンヌプリなどは、いずれも幕末から硫黄の採掘現場だったので、総称して「硫黄山」と呼称され、最も標高が高く景観としても目立ったはずのニセコアンヌプリには、明治20年代まで「硫黄山」以外の固有名詞が付かなかったのです。硫黄の採掘については明治政府も企業も大きな関心を寄せ、鉱山技師ライマンも明治6年から調査を行っています。経営体が交代しながら硫黄の採掘は昭和12年まで続けられ、なかでも、明治12年から19年まで採掘の経営に当たった(C)と、その後を引き継ぎ近代的な採掘設備を導入して生産量を大幅に伸ばした(D)は、地域の歴史にも大きな影響を与えました。

【問24】Aにあてはまる年代を選んでください。

- 1) 明治20年代 2) 明治40年代 3) 大正40年代 4) 昭和10年代

【問25】Bにあてはまる山名を選んでください。

- 1) イワオヌプリ 2) ニトヌプリ 3) ワイスホルン 4) チセヌプリ

【問26】Cに該当する事業所の名前を選んでください。

- 1) 未来社 2) 永年社 3) 水平社 4) 開拓農社

【問27】Dに該当する事業所の名前を選んでください。

- 1) 三菱鉱業 2) 住友財閥 3) 三井物産 4) 久原財閥

7：温泉とスキーが創った「ニセコ」ブランド

ニセコ・羊蹄山麓の温泉史は、(A)に開業した山田温泉に始まります。その場所にその後、ニセコひらふスキー場が開設されますので、ニセコ山系における温泉とスキーの結びつきを象徴する幕開けと言えます。北海道鉄道がこの地に比羅夫駅を設け、蝦夷富士登山会が結成された同じ年明治37年には、青山温泉が開業します。今の昆布温泉郷のなかにある(B)つの温泉の一つです。鉄道の乗客が温泉に関心を持たないはずはなく、この頃からさまざまな温泉が開業します。青山温泉の(C)には北大学生スキー部が毎年合宿し、同じ昆布温泉郷の宮川温泉(現在の鯉川温泉)には小樽高商のスキー部が合宿し、温泉とスキーの結びつきを深めます。昭和3年、スイスのサンモリッツで第2回冬季オリンピックが開かれ、日本からもはじめて選手が派遣されました。連日の報道により、日本国内でもサンモリッツは耳馴染みになります。この冬季オリンピック終了直後、(D)さまが青山温泉の(C)に宿泊してスキー登山に臨みます。地元では、スキーに堪能な警察官や北大スキー部の学生などが随行したと記録にありますから、既にスキーは一部では普及していた頃でした。(D)さまは、ニセコアンヌプリとチセヌプリに登りますが、いずれも悪天候のため目的を達せず、遭難騒ぎまで起きます。この一部始終が小樽新聞社によって全国に発信されたことから、ニセコ山系の雪質がサンモリッツにも劣らないパウダースノーであることが全国に知られ、「ニセコ」の名が一気に全国区となったのでした。その後、青山温泉は大きな歴史的役割を終えるかのように、その華々しい歴史を閉じます。

【問28】Aにあてはまる年を選んでください。

- 1) 明治18年 2) 明治30年 3) 明治37年 4) 明治45年

【問29】Bにあてはまる数字を選んでください。

- 1) 5 2) 6 3) 7 4) 8

【問30】Cに該当する旅館の名前を選んでください。

- 1) 不老閣 2) 山の家 3) 薬師温泉旅館 4) 鯉川温泉旅館

【問31】Dに該当する宮様の名前を選んでください。「スキーの宮様」とも言われました。

- 1) 高松宮 2) 秩父宮 3) 三笠宮 4) 李王根

8：羊蹄山麓の湧水

羊蹄山の裾野には、1日に2,000トン以上湧出している湧水地が約(A)箇所あります。日本の名水100選にも選ばれた京極町の湧水はその代表例で、観光地としても有名です。ほとんどの湧水は、標高250メートル前後にある溶岩と粘土層の境目から湧出しています。全体で1日に(B)も湧出していますが、京極町から真狩村にかけての東側半分6箇所ですべての(C)強に達します。特に、京極町の湧水は、公式ホームページによると、1日に8万トンも湧出しているため、計算上は1秒に1トン近い湧出量になります。このような湧出量の偏りは、羊蹄山の内部が東西に対称でないことに原因があ

ります。火山山麓の湧水が美味しいのは、雨水などが地中を流下する際きれいにろ過され、カルシウムやマグネシウムなどのミネラルが適度に溶け込み、水温も（D）とほぼ一定しているからです。この水質についても、羊蹄山の東側と西側では違いが見られます。水量が多い東側では西側より地中の流下速度が速く、結果的にミネラルの成分がやや薄くなります。各地の湧水は、ミネラルの成分やその濃度などの違いによって、それぞれ個性的な味わいとなっています。湧出量の多い羊蹄山麓の町村では、湧水を用いてさまざまな関連商品を開発し販売しています。

【問32】 Aにあてはまる数字を選んでください。

- 1) 5 2) 10 3) 17 4) 25

【問33】 Bにあてはまる数字を選んでください。

- 1) 8万トン 2) 15万トン 3) 30万トン 4) 50万トン

【問34】 Cにあてはまる数字を選んでください。

- 1) 60% 2) 70% 3) 80% 4) 90%

【問35】 Dにあてはまる数字を選んでください。

- 1) 4℃ 2) 6～7℃ 3) 10～12℃ 4) 16～17℃

9：松浦武四郎による尻別川の踏査

後に「北海道」の名付け親となった松浦武四郎が、江戸幕府の命により尻別川をはじめ踏査したのは、（A）のことです。この年の春、彼は最初尻別川の河口から川を遡りますが、激流に阻まれ（B）地区（蘭越町）のあたりで遡上を断念し、引き返します。続いて、共和町国富のあたりから倶知安に抜けてソースケ川に出ますが、その周辺も激流に阻まれて断念を余儀なくされたのです。同年の夏、今度は虻田から今の留寿都村を通りぬけて、喜茂別町の（C）地区あたりで尻別川に出ます。そこから尻別川の上流に向けて遡り、鈴川地区のあたりで引き返し、今度は川を下って、途中「フィラ」と言われた激流ポイントを何箇所も超えて、やっと河口にたどり着きます。翌年、武四郎は再び虻田から喜茂別町の（C）地区あたりに向います。今度は尻別川の支流喜茂別川を遡り、中山峠を越えて石狩に抜けます。このときのルートはその後、（D）から開削された本願寺道路の基となり、今日の国道230号に結実します。この2回の調査結果は公式の報告書として幕府に提出されましたが、公開が禁止されたことから、武四郎はその内容を一般に広めるため、安政6年に「後方羊蹄日誌」を著します。この中で、武四郎は後方羊蹄山に登ったと記していますが、最近の研究で、これはフィクションであることがほぼ確実となっています。後方羊蹄山の素晴らしさを多くの人に伝えたいという、武四郎の想いが表れていると言えるといえるでしょう。

【問36】 Aにあてはまる年号を選んでください。

- 1) 元禄4年 2) 安政4年 3) 安政5年 4) 慶応4年

【問37】 Bにあてはまる土地の名前を選んでください。

- 1) 名駒 2) 昆布 3) 目名 4) 磯谷

【問38】 Cにあてはまる土地の名前を選んでください。

- 1) 伏見 2) 双葉 3) 知来別 4) 相川

【問39】 Dにあてはまる年号を選んでください。

- 1) 安政3年 2) 明治3年 3) 明治13年 4) 明治23年

10：尻別川流域の生活圏と川利用のルール

尻別川は流路延長129 キロメートルで、流域自治体は後志支庁管内の（A）を含む全9市町村、源流域にあたる自治体は伊達市です。尻別川には多くの支流がありますが、羊蹄山の南側を巻き込むように流れるのは支流真狩川です。二度に亘って尻別川を探検した（B）が描いた古地図には、この真狩川も羊蹄山の北側を流れているように描かれています。流域の主な産業は農業ですが、農業用水や発電用のダムが尻別川には6箇所あります。その全てに魚道が設置されるようになったのはこの10年間の出来事ですが、NP0を含む住民の要請とこれに応えたダム所有企業による流域連携の成果と言えます。寒別発電所ができてからは、その上流域で（C）の姿が消えたと言われていたのです。河口付近ではヤツメウナギなどの内水面漁業も盛んで、近年はラフティングなどの新しいアクティビティも大勢の観光客を集め、冬のスキーに勝るとも劣らない夏の観光産業として隆盛を極めるようになりました。このように、川の多様な利用形態が混在するようになったことから、それぞれの利害や利用形態の調整を図るため、NP0など住民が中心になって、2000年にそれぞれの利害を調整して川利用のルールを作りました。また、川利用のルールに公的な拘束力をもたせるため、流域7町村が広域で（D）を制定し、尻別川の恵みを後世に伝えるべく努力しています。このような流域全体の協働による自治活動の成果などもあって、尻別川はこれまでに8回、（E）が認定する「清流日本一」の荣誉に浴しています。

【問40】 Aにあてはまる町村数を選んでください。

- 1) 5町村 2) 6町村 3) 7町村 4) 8町村

【問41】 Bにあてはまる人物の名前を選んでください。

- 1) 新井白石 2) 伊能忠敬 3) 松浦武四郎 4) 最上徳内

【問42】 Cにあてはまる魚の名前を選んでください。オビラメとも言います。

- 1) イトウ 2) サケ 3) オショロコマ 4) イワナ

【問43】 Dにあてはまる言葉を選んでください。

- 1) 景観統一条例 2) 環境美化統一条例 3) 尻別川統一条例 4) 環境基本条例

【問44】 Eにあてはまる省を選んでください。

- 1) 環境省 2) 文部科学省 3) 国土交通省 4) 総務省

11：農と食

羊蹄山麓の農業は、畑作と水田が大きな特徴となっています。地域の名前がブランド化した蘭越町の米、日本一の生産量を誇る真狩村の**(A)**、かつては生産量が日本一だった喜茂別町のホワイトアスパラなどが代表的な農作物です。しかし、この地域のもっとも大きな特徴となるブランド農作物はジャガイモです。**(B)**にさまざまな品種のジャガイモが導入され品種改良も行われ、大正末期には「男爵」薯がこの地域の代表的な品種に育ちました。昭和10年代には、留寿都村で**(C)**が誕生、羊蹄山麓はジャガイモの一大生産地となりました。収益性の高いジャガイモは連作になりがちで、昭和40年代には、羊蹄山麓において日本で初めてシストセンチュウによる被害が発生、深刻な事態となりました。3輪作から4輪作を中心とする輪作体系の徹底と抵抗品種の開発により、シストセンチュウは今日ほぼ克服されています。特に、抵抗品種の中でも留寿都村の農家はその普及に努力したキタアカリは、調理のしやすさや食味の点でも消費者に歓迎されています。このような抵抗品種や輪作の組み合わせによって、羊蹄山麓の各町村はそれぞれが個性的で多様なジャガイモ産地を形成しています。**(D)**や倶知安町では「男爵」の生産割合が非常に高く、**(E)**では「キタアカリ」の割合が他町村より多く、**(F)**は多品種という特徴が見られるようになりました。

【問45】 **A**にあてはまる特産品を選んでください。

- 1) トマト 2) 大根 3) コリ根 4) グリーンアスパラ

【問46】 **B**にあてはまる時期を選んでください。

- 1) 明治初期 2) 明治後期 3) 大正期 4) 昭和初期

【問47】 **C**にあてはまるジャガイモの品種名を選んでください。

- 1) とうや 2) インカのめざめ 3) 紅丸 4) トヨシロ

【問48】 **D**にあてはまる町村名を選んでください。

- 1) 喜茂別町 2) ニセコ町 3) 京極町 4) 留寿都村

【問49】 **E**にあてはまる町村名を選んでください。

- 1) 蘭越町 2) ニセコ町 3) 京極町 4) 留寿都村

【問50】 **F**にあてはまる町村名を選んでください。

- 1) 蘭越町 2) ニセコ町 3) 京極町 4) 留寿都村